

森茂好三十三回忌追善／森・野口両名改姓改名披露

第四回 下掛宝生流能の会

令和五年

4月29日(土・祝)

午後1時開演

国立能楽堂

能 半 部

立花供養
協語

観世清和

森常好 改メ
宝生常三

脇仕舞

春 栄

野口敦弘 改メ
東條敦弘

一調

杜 若

宝生和英
金春惣右衛門

連吟

鶺 鴒

館田善博
殿田謙吉

狂言

布施無経

山本東次郎

第四回下掛宝生流能の会

しもがかりほうしょうりゅう

令和五年四月二十九日(土祝)

於 国立能楽堂

開演午後一時

脇仕舞 春 栄

野口敦弘 改メ
東條 敦弘

野口 琢弘
宝生 欣哉
野口 能弘
吉田 祐一

一調 杜 若

諺 宝生 和英

太鼓 金春惣右衛門

連吟 鶺 飼

シテ
ワキ 館田 善博
ワキ 殿田 謙吉
ワキツレ 平木 豊男

地謡
御厨 誠吾 高井 松男
大日方 寛 宝生 欣哉
則久 英志 工藤 和哉
北島 公之 梅村 昌功

狂言 布施無經

シテ 山本東次郎

アド 山本 則孝

休憩二十分

能 半 部

シテ 観世 清和
立花供養
脇語

森常好 改メ
ワキ 宝生 常三
アイ 山本泰太郎

大鼓 亀井 広忠 笛 一噌 隆之
小鼓 大倉源次郎

後見 観世三郎太
武田 宗和
坂口 貴信

地謡
川口 晃平 観世 淳夫
谷本 健吾 梅若 紀彰
清水 義也 観世鏡之丞
角 幸二郎 観世 喜正

花 草月流家元
勅使河原 茜

終了予定 午後四時頃

半部 立花供養 について

『半部』は源氏物語・夕顔の巻を基に作られた能で、主人公の女(シテ)は、光源氏と東の間のほかない契りを結んだ夕顔の霊のような、或いはその逢瀬のきつかけとなる宿の垣に咲く夕顔の花の精のような曖昧な存在として描かれており、この巻が帯びる夢幻的なイメージを上手く投影させているのが魅力の作品です。

※小書『立花供養』は、シテの流儀が観世流の時の名称であり、当流では単に『立花』といえます。常の演出では出されない立花が舞台上に据えられ、前半、僧(ワキ)が花供養をする場面が、よりしめやかで荘厳な雰囲気彩られます。また、この小書の時は、シテが中入して間狂言の語り、特別な脇語りが入りますが、これは元来一子相伝とされる大事な語り物で、現在まで大切に語り扱われてきました。

今回、当流十世家元・宝生新の孫・森常好が父・森茂好の三十三回忌追善の年を迎えるに当たり、この大事な小書付き能のワキを勤め、祖父の姓「宝生」を受け継ぎ、同時に名も改め、宝生常三と名乗ることと致します。また同時に、長老・野口敦弘は、祖父・貢五郎の元の姓「東條」を受け継ぎ、東條敦弘と芸名を改めます。

この記念すべき披露の場に是非ともお立ち頂きたく、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

(当日は初心者の方にも解りやすい解説と、下掛宝生流の歴史に関する文章が付いたパンフレットを配布予定です)

※小書(こがき)：能の特殊演出のこと。曲名の下に小さく書いて事前に観客に知らせるのでこう呼ぶ。
※立花(りっか)：室町時代後半に成立した、活け花の最も伝統的な古い様式。
『半部』で、この名称の小書が付いた時は、能の作り物としてではなく、本職の華道家がつけた実物の花が舞台上に出される。

チケットのお申し込み 2月20日(月)午前10時より予約受付開始

[入場料(全席指定)]

■正面 S席 10,000円 ■正面 A席 9,000円
■脇正面 B席 7,000円 ■中正面 C席 6,000円

学生(30歳以下)は、各席・上記金額より4,000円割引
※学生券は、当日受付にて学生証のご提示の上、お受け取りください。



予約フォーム

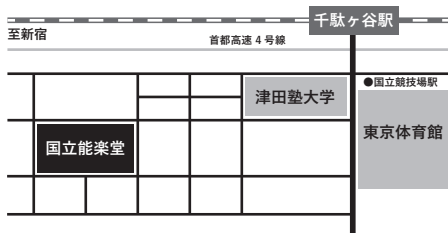
[お申し込み]

下掛宝生流ホームページ <http://shimohou.com/ticket/>
メール: shimohou.ticket@gmail.com Fax: 050-1294-5701
①お名前 ②ご住所 ③電話番号 ④ご希望の席種と枚数をご明記の上、ご送信ください。

※病気その他やむを得ない事情で出演者の変更になることがあります。
※公演中止の場合を除き、ご購入後のチケットの払い戻し、変更、再発行はいたしません。

[お問い合わせ]

下掛宝生会事務局 (担当:大日方寛)
Tel: 070-3883-3920(受付時間 平日13:00~17:00)



国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-18-1
Tel.03-3423-1331 (代表)
●JR 総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩 5分
●地下鉄大江戸線「国立競技場駅」
A4 出口より徒歩 5分

